



令和7年3月

令和6年度

学校評価

1 学校の自己評価

- (1) 「教職員アンケート」の結果と考察
- (2) 「保護者アンケート」の結果と考察
- (3) 「児童アンケート」の結果と考察
- (4) 学校の自己評価の結果と改善策

2 学校関係者評価

- (5) 学校関係者評価書

昭和町立押原小学校



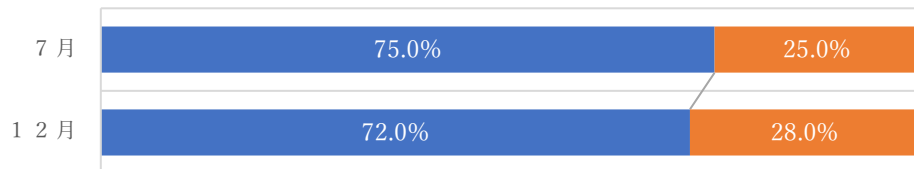
Ⅰ 学校の自己評価

(1) 「教職員アンケート」の結果と考察

1. 学校教育目標・学校経営について

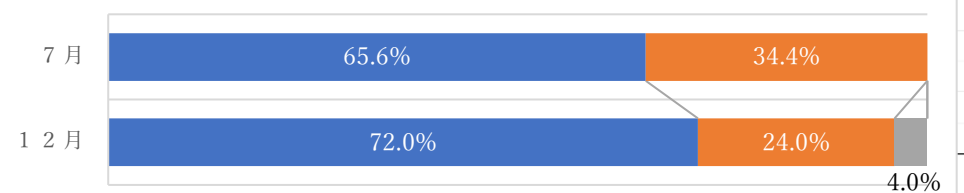
あなたは、学校経営方針に基づき、
教育活動を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



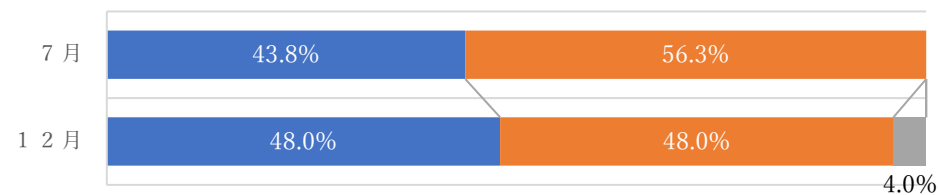
あなたは、学校の教育活動計画に基づき、実態に即した
教育実践を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、PDCAサイクルを生かした教育活動を行って
いる。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・学校教育目標が掲示してあるため、子供達に浸透していることが素敵だと思いました。
- ・学校教育目標や学校経営について、職員会議や終礼など、随時関連して行っているため、職員も意識していると感じる。
- ・教職員が、同じベクトルで取り組んでいる。

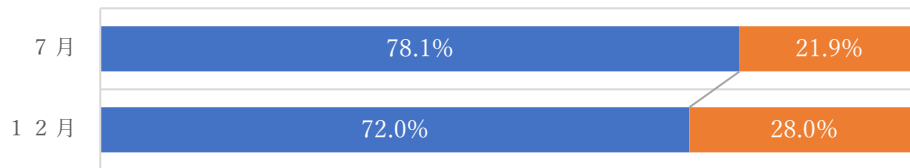
学校教育目標・学校経営について【まとめ】

1年間を通して、学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきたことが、結果からもうかがえる。また、教育活動計画に基づきながら、児童の実態や教育環境に即した教育実践を行っているということが、肯定的な評価からうかがえる。PDCAサイクルを生かした教育実践という点についても、「そう思う」の割合が増加している。これまでに実践をした成果をチェックし(C)、次年度につなげていく(A)ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の教育課程の作成や押原小の教育要綱の作成をしっかりと行い次年度につなげていきたい。

1 (1) 安全・安心の保障 ○生徒指導について

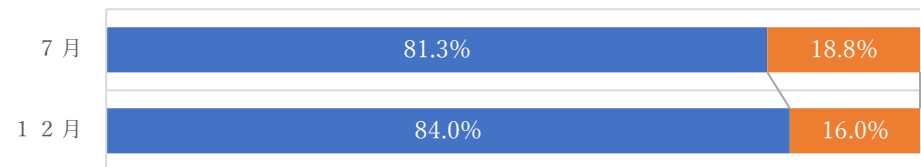
あなたは、児童理解のために児童及び関係者とコミュニケーションを図っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



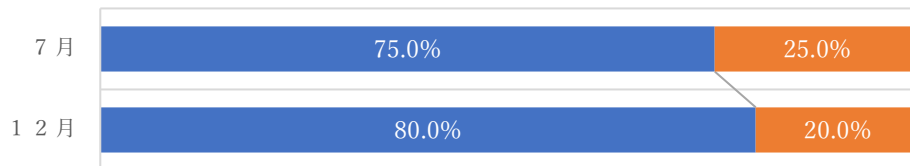
あなたは、問題行動（いじめ・不登校等）の早期発見・早期対応に努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、教職員間で生徒指導上の課題の共有を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



(1) 安全・安心の保障 ○生徒指導について 【意見・感想】

- ・学年の先生方と児童の情報共有をしっかりとすることができ、私自身も安心して相談事もできています。
- ・子どもたちや保護者が安心できるよう連絡を行ったり、職員間で情報交換をしたりするよう努めました。
- ・毎週児童理解で情報共有できることが良い。
- ・児童に寄り添い、安心感のある学校であるために生徒指導に取り組んでいます。
- ・特支学級間、また交流クラス・学年と課題や情報を共有するように努めている。
- ・妥当。
- ・学年主任が他のクラスのことも常に気にかけてくれているので、とてもありがたいです。
- ・いろいろと指導していただき、ありがとうございました。

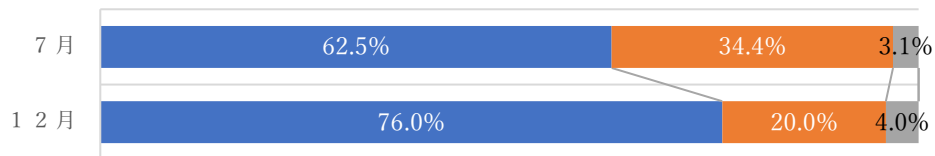
(1) 安全・安心の保障 ○生徒指導について 【まとめ】

児童や保護者にとって「安心・安全」な学校をめざして、生徒指導に取り組んできた。児童が多様性を認め、お互いの人権を尊重しようとする態度の育成を日々の教育活動の中で醸成する「発達支持的生徒指導」、道徳や学級活動等においていじめ等を起こさせないという意識を高める児童主体とした「課題未然防止教育」を日常の教育活動の中で行い、先行的（プロアクティブ）な生徒指導を心がけてきた結果が自己評価にも、表れている。日々の児童理解や、定期的ないじめアンケートを通して、早い対応を心がけてきた。また、担任一人で問題を抱え込むことがないよう、学年主任を中心に学年全体で同一步調での対応を意識して生徒指導に取り組んだ。今年度の取り組みを継続することが、「安心・安全」な学校づくりに欠かせないことであると考えている。

1 (1) 安全・安心の保障 ○安全指導について

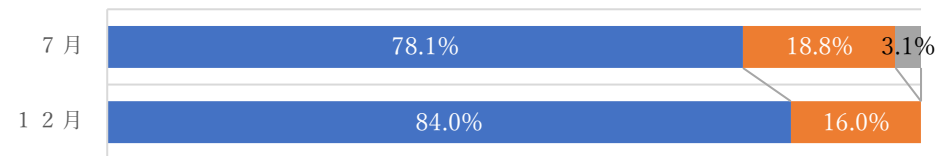
あなたは、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



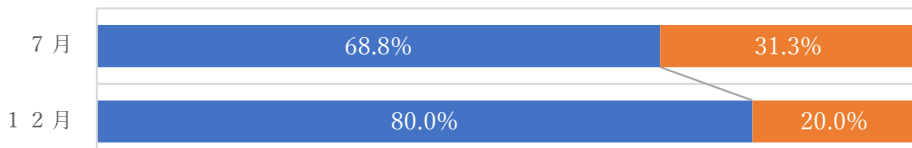
あなたは、災害や犯罪発生を想定した指導を行っている。(避難訓練・防犯訓練等)

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、感染症及び熱中症予防の対策に適切に取り組んでいる。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



(1) 安全・安心の保障 ○安全指導について 【意見・感想】

- ・地区での指導を集団下校の際に行なっていることがよい。避難訓練も児童、教職員共に自分ごととして取り組むことができている。
- ・安心安全を第一に、安全指導に取り組んでいます。
- ・肢体不自由児や知的障害児の児童が安全に過ごせるよう、個別の対応を心掛けている。
- ・妥当
- ・毎月の安全指導日だけでなく日々、安全について指導し、教室環境を整えるよう取り組んでいます。
- ・突発的な事件がありましたが、迅速に対応していただき、ありがとうございました。地域の方の見守りも実感しました。

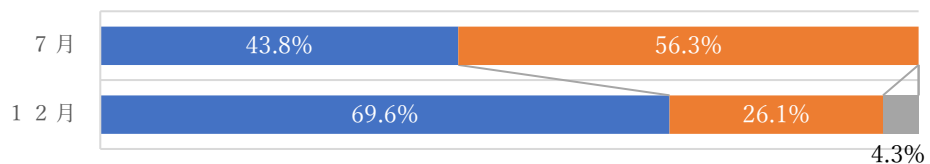
(1) 安全・安心の保障 ○安全指導について 【まとめ】

安全指導については、毎月火曜日の安全指導日の設定、集団下校時の見守り指導、地震や水害を想定した避難訓練の実施等、計画的な指導を継続したことが、評価につながったと考えられる。また、近隣の市で起きた事件に対して学校だけではなく、地域の協力を得ながら対応することができたことも、結果として安全指導の成果と言える。熱中症予防や感染症対策に関しては、救急搬送等の大きな事故や学級閉鎖等の処置を行うまでの感染拡大もなく、養護教諭を中心に適切に取り組むことができた。来年度は、運動会の開催時期の見直しを行うなど、更なる対策を重ね、引き続き児童の健康の維持に努めていきたい。

1 (2) 学力向上対策 ○学習指導について (5) 道徳教育の推進

あなたは、児童主体で規律ある
学級・学年・学校集団づくりを行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、基礎・基本の定着を図る
授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



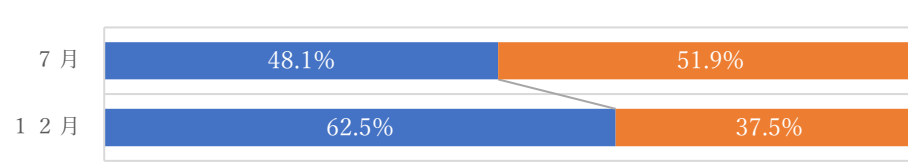
あなたは、思考力や表現力などを高める授業に
努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



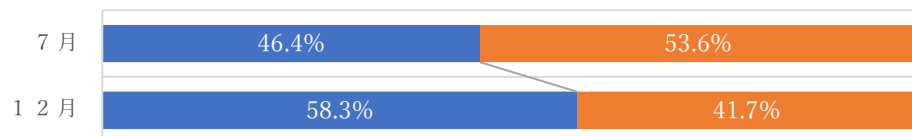
あなたは、児童の道徳的実践力を高める
授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



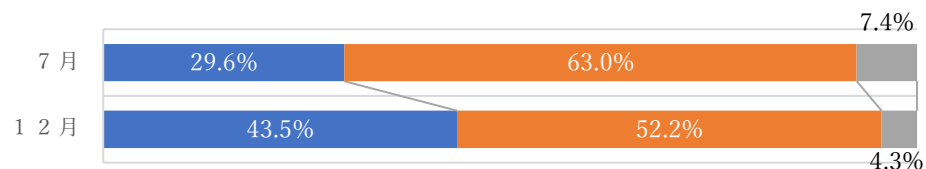
あなたは、児童の体力向上や健康の保持増進のための指導を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、家庭学習について家庭と連携を図っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



(2) 学力向上対策 ○学習指導について (5) 道徳教育の推進について 【意見・感想】

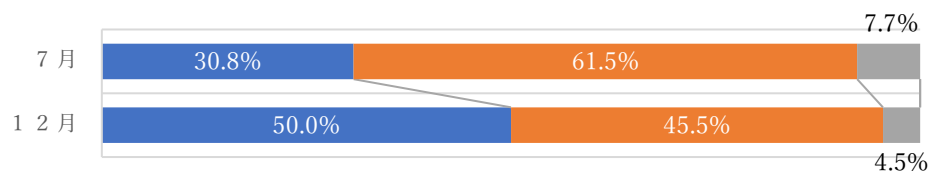
- ・家庭学習の内容は、保護者の協力によって成り立つ部分が多い。そのため、よい取り組み例を紹介したり、教師がテーマを提示したりして工夫を行っている。
- ・家庭学習では青本・赤本などご家庭と協力して取り組んでいる。学習指導については、日々充実した授業をつくることのできるよう研鑽に励んでいきたい。
- ・児童の特性に寄り添った指導をしており、表現力・思考力よりも、基礎基本の定着に重きを置いている。基礎基本をしっかりと身につけた上で、表現力・思考力を高めさせたい。
- ・妥当

(2) 学力向上対策 ○学習指導について (5) 道徳教育の推進について 【まとめ】

学級、学年等の集団づくりに関して、「そう思う」との回答が大きく向上した。集団づくりの大切さを全職員が理解し、取り組んできたことの成果であるといえる。思い描いていたような結果とならなかったのか、「あまりそう思わない」の回答も見られる。どの学級も、3学期の最後の日まで、蒔いた種は、いつか必ず芽吹くことを信じ、学級づくりの種を蒔き続けていきたい。基礎・基本の定着に重点が置かれた指導が継続的に行われた。1コマ1コマの指導を大事にして、積み重ねながら学力の向上を最後まで目指していきたい。道徳教育についても継続した授業実践を積み重ねることで道徳的実践力を高めてきた。「自立した個人として、また、国家・社会の形成者としていかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢」が形成されてきたことは、自らの過ちを正直に名乗り出ることができる子どもたちの姿が証明してくれている。家庭学習については、1年生から6年生まで発達段階に応じた指導や取組が継続して行われ、家庭との連携も定着してきている。押原小の家庭学習のスタイルを次年度も継続していきたい。

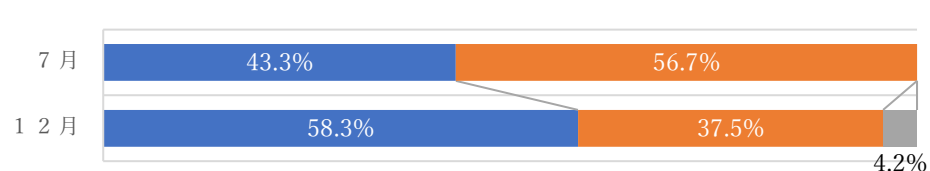
あなたは、児童用タブレット・電子黒板等の
電子機器を活用した授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、個に対応したきめ細かな指導を
行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



(2) 学力向上対策 ○多様な学習と質の高い授業の実践について 【意見・感想】

- ・ 個別な支援を必要とする児童もいるため、一人一人が『できた』と思える達成感のある授業を実践していきたい。
- ・ 特別支援学級なので、個の特性をしっかり把握し、個に応じた学習を進めていくよう、これからも心がけたい。
- ・ 低学年においても、必要に応じてタブレットを使った授業を行い、対話的な学習が活発になるように努めている。
- ・ 妥当

(2) 学力向上対策 ○多様な学習と質の高い授業の実践について 【まとめ】

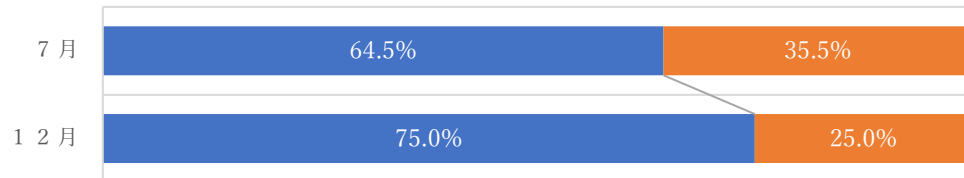
いずれの項目も「そう思う」の回答した割合が増えている。ICT 機器を活用することでこれまで私たちが受けてきた授業のスタイルが大きく変化していくことが期待されている。機器を使用することが目的となるのが、初期の段階だとすると、機器を使用することによって、「学習に生かすことができた」「理解の助けとなった」「できるようになった」と児童が感じられることが、教育 DX が起こっている段階だと言える。課題も見られる ICT 教育ですが、児童も教師も道具として使っていくことが求められており、研修・実践の積み重ねが求められている。また、学習規律・学習態度・基礎基本が定着していない中では質の高い授業の実現には、難しさがあるので、不易の部分を蔑ろにしないで、学習指導にあたっていきたい。

(3) 地域と共に歩む学校

(4) 魅力ある学校づくり ○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互恵を基調とした開かれた信頼される学校の創造について

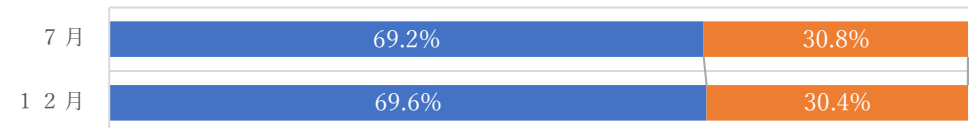
あなたは、学年便りや連絡帳、電話連絡等を活用し、家庭・地域との、よりよい信頼関係づくりに努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



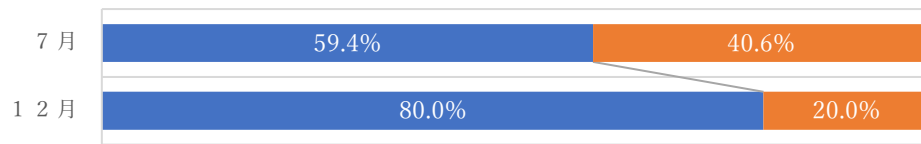
あなたは、授業参観や家庭訪問等をとおして、保護者と相互に理解を深めたり、課題を共有したりする機会にしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



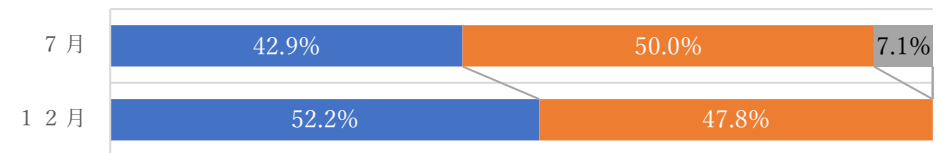
あなたは、保護者の意見や要望に対して適切に対応している。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、地域の人材や素材を授業に活かそうとしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



(3) 地域と共に歩む学校

(4) 魅力ある学校づくり ○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互恵を基調とした開かれた信頼される学校の創造について

【意見・感想】

- ・地域の方と関わりがとても多く、人と人が繋がることの素晴らしさを感じています。
- ・地域の方に協力していただくことで、よい学習ができると実感しています。
- ・保護者の方に学校で頑張っている子供達の姿を伝えることができるよう努めている。
- ・校内研究を通して、更にコミュニティスクールのよさを感じた。地域とのつながりを活かしていきたい。
- ・CS校として、さまざまな地域との協働活動を行っている。一つひとつの活動や目的をしっかりと確認し、保護者や地域と共に児童を育成することが大切であると思う。
- ・CSコミュニティスクールとして1年間地域とかかわりをもって取り組んできました。

(3) 地域と共に歩む学校

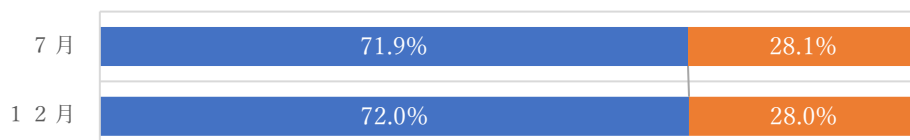
(4) 魅力ある学校づくり ○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互恵を基調とした開かれた信頼される学校の創造について【まとめ】

11年目となるコミュニティ・スクールを核とした学校づくりは、地域や保護者との連携が図られるとともに、厚い信頼も得られることができた。これは、教職員一人一人が真摯に丁寧に向き合ってきたことの成果であることは前期の振り返りからも変わらず揺らいでいない。押原小学校の強みであり、押原小教育の柱であると言える。今年度のCS活動を次年度も継続して行い、信頼される学校を創造していきたい。

(4) 魅力ある学校づくり ○めざす教師像について

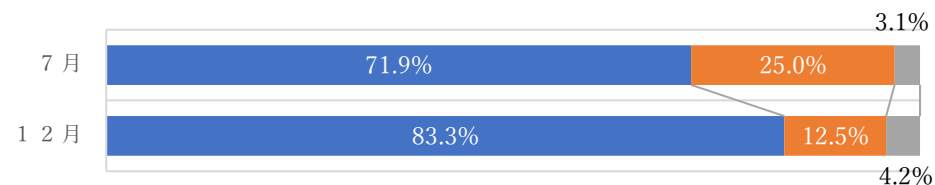
あなたは、教員かつ公務員としての職責を果たすために
サービス規律の確保に努め、研修を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない

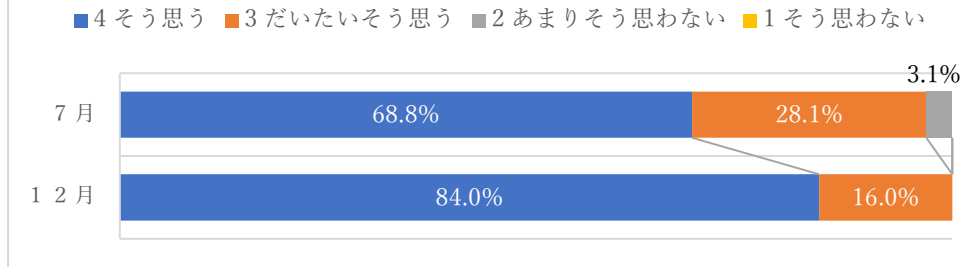


あなたは、円滑な学校運営の実現のために校務分掌に基づき、協働して職務を遂行している。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、保護者や地域住民等と望ましい人間関係を築くことに努めている。



(4) 魅力ある学校づくり ○めざす教師像について 【意見・感想】

- ・相談しやすい職場なので、日々情報を共有しながら職務に務めている。
- ・魅力ある学校であるために、子どもや保護者、地域の方々に寄り添い、学び続ける教師でありたい。
- ・当たり前のことだが、個々の自己研鑽はもちろんのこと、チーム学校として協働して学校経営・児童育成に携わることが大切であると考えている。

(4) 魅力ある学校づくり ○めざす教師像について【まとめ】

学校長のリーダーシップのもと、全職員が協働して職務の遂行にあたっていった。一人一人がそれぞれの立場（分掌）で責任をもって職務に当たり、力量を発揮してきたことが、学校評価のすべての項目に関わっていると考えられる。また、一人一人が負担感なく、力を発揮できるような学校風土づくり、職場環境づくりを全職員で進めて行くことが今後、求められる。令和3年の中教審答申に教師に求められる姿として「変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けること。子供一人ひとりの学びを最大限に引き出す役割を果たすこと。子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えていること。」が示されていることを再確認してまとめとする。

(2) 「保護者アンケート」結果と考察

押原小学校 令和6年12月実施

学校教育目標						
ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成 自分の考えをもち、自ら学ぶことができる子(知)…かしこい子 豊かな心を持ち、人を思いやることができる子(徳)…やさしい子 心と体をきたえ、最後までやり抜くことができる子(体)…たくましい子						
※(4) そう思う (3) ややそう思う (2) あまりそう思わない (1) そう思わない					割合(%)	
評価項目			(1)	(2)	(3)	(4)
生徒指導	①	児童は、生き生きと学校生活を送っている。	67	28	3	1
	②	教職員は、児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。	63	33	5	0
	③	学校は、児童の望ましい生活や人間関係づくりのための指導が行われている。	56	38	6	0
学習指導	④	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	64	30	5	0
	⑤	教職員は、思考力や表現力などを高める授業に努めている。	61	35	3	0
	⑥	学校は、児童の道徳心を高める指導が行われている。	61	35	5	0
	⑦	学校は、児童の体力向上や健康の保持増進のための指導が行っている。	59	37	4	0
	⑧	学校は、家庭学習で家庭と連携が図っている。	52	40	8	0
児童の安全確保	⑨	学校は、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。	67	28	5	0
	⑩	学校は、災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる。(避難訓練・引き渡し訓練・防犯訓練・救急法講習会等)	68	29	2	0
	⑪	学校は、児童の健康管理の対策に適切に取り組んでいる。(熱中症対策・感染症対策等)	66	30	5	0
学校・保護者の連携	⑫	学校からの通知やお便り、ホームページなどは、保護者に必要な情報を伝えている。	72	26	2	0
	⑬	家庭訪問・個別懇談・授業参観などは、教職員と保護者が相互に理解を深めたり課題を共有したりする機会になっている。	63	37	2	0
	⑭	学校は、保護者の意見や要望に対して適切に対応している。	63	33	4	0
	⑮	コミュニティ・スクールとして、学校と地域との連携を深める取組が行われている。	65	31	3	0

【まとめとして】

すべての項目において、9割以上の肯定的な回答をいただくことができた。このことから今年度、学校が行ってきた教育活動は、支持をしていただけたと考えられる。

その中で、大きく数値が向上した項目は、家庭学習についてと、保護者対応である。このことは、今年度の取組の大きな成果であるといえる。家庭学習については、校内研究のテーマとして継続して取り組んできている。取り組みを続けてきたことで、家庭に浸透し始め、理解と協力が得られるようになったのだと言える。保護者対応については、「スピードは誠意」のもと、スピード感のある対応を心掛けるとともに、相手の立場に立った対応を教師一人一人が意識して取り組んだ成果である。これらのことは、自信をもって来年度に引き継いでいきたい事項である。

一方、肯定的な数値が減少したものに目を向けることで、次年度、課題として取り組まなければならないことが見えてくる。学級づくりを基盤とした望ましい人間関係の指導や、思考力や表現力を高めることをねらいながら行う、わかりやすい授業の実践などである。これらは、教師として日々研鑽を積まなくてはならない部分であり、常にさらに上へ上へと資質・能力の向上を求めていくべき内容である。校内研究の内容に設定し、学校全体で取り組んだり、ベテラン教師が若手教師に伝えていったりするなど、様々な方法で取り組んできたい。

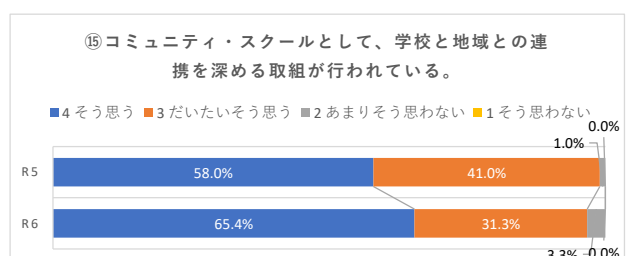
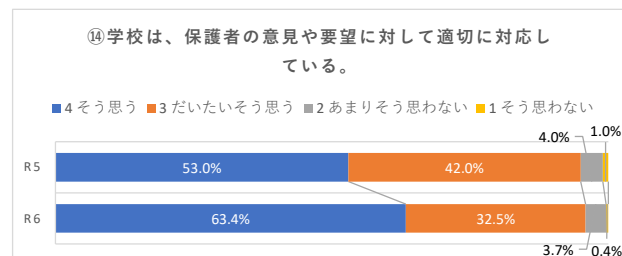
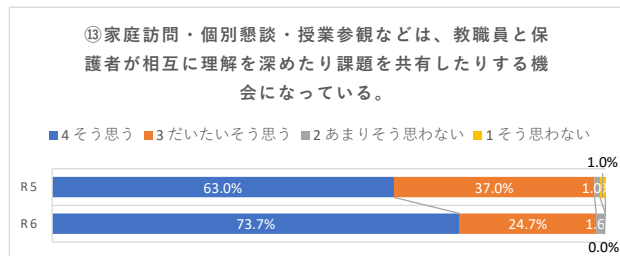
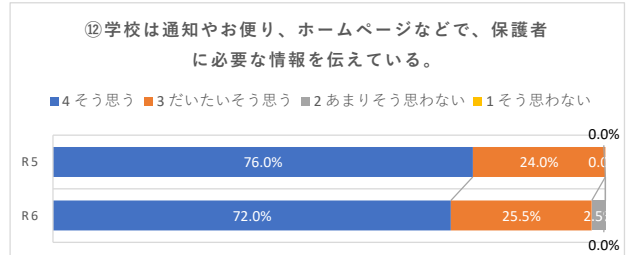
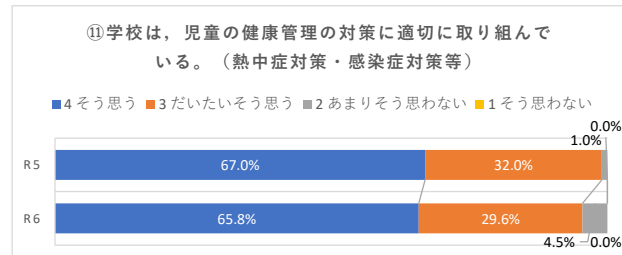
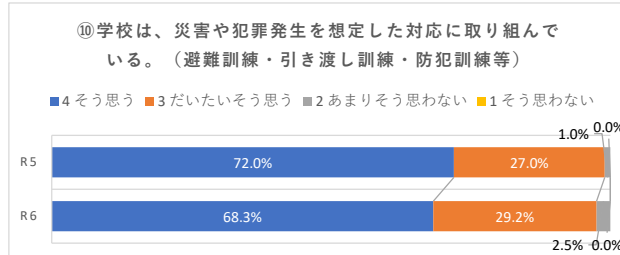
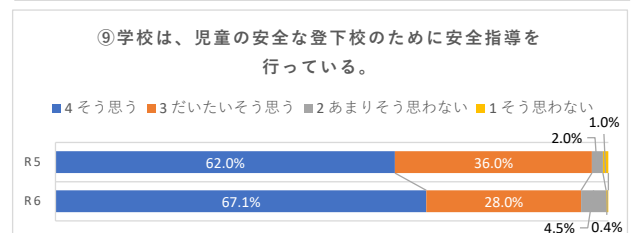
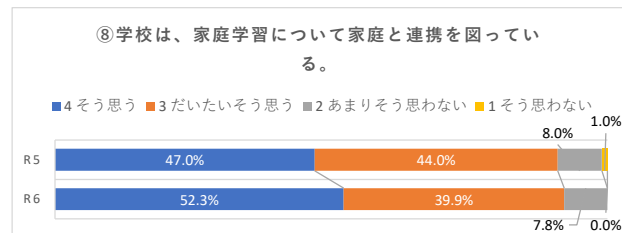
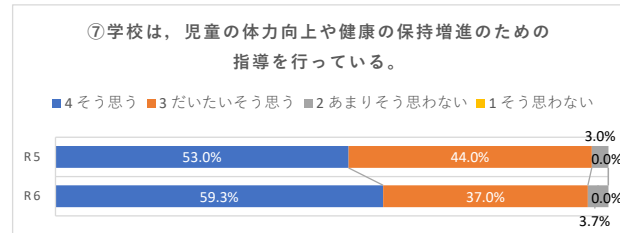
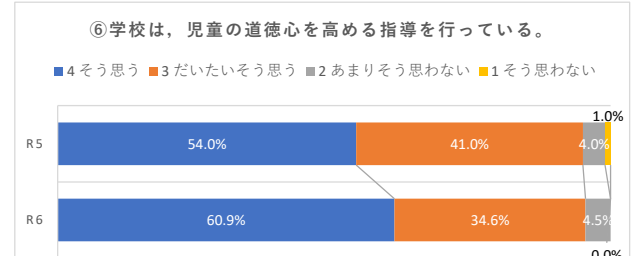
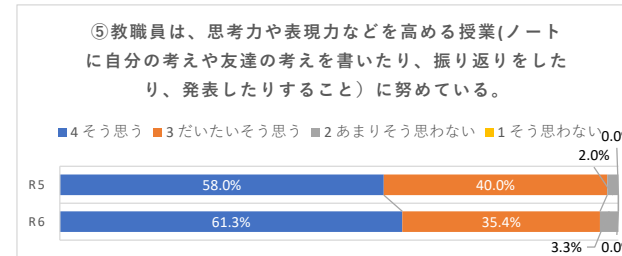
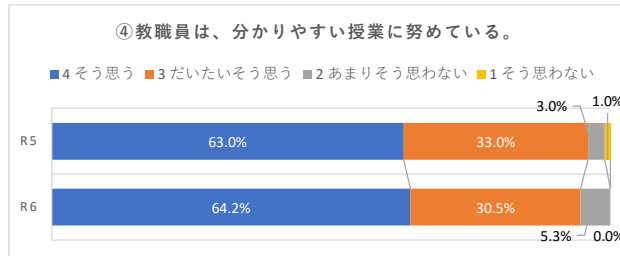
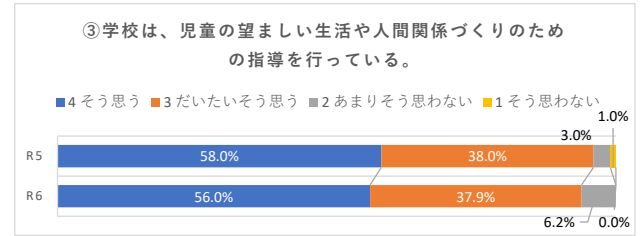
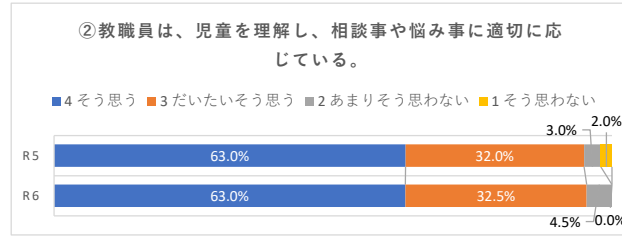
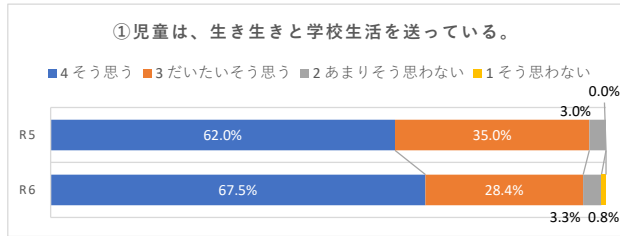
全体的な評価としては、肯定的な意見ではあるが、自由記述に合った貴重な意見にも次年度より良い学校教育を行う上でのヒントが隠されていると考える。具体的には、熱中症対策として、運動会の時期の変更は来年度決定したので、改善を図ることができる。それ以外の御意見については、よく検討したうえで、改善につなげていきたい。

また、自由記述の中には、これまでの取り組みを認めてくださる意見が多くみられた。これは、私たち教員にとって大変勇気づけられるものである。多くの保護者の理解の中で押原小学校の教育を進めることができていることに心から感謝したい。

【主な意見】

<p>・◎健康管理対策について…校舎の構造上、夏季は校舎内の気温が高い。エアコンの使用時間が4時間と決められたようですが、朝から暑い日の場合、熱中症にならないか心配しています。冬季は教室が寒く、体調管理が心配です。</p>
<p>・CS感謝のつどいは保護者が参加できる行事と直前まで知らず、仕事を休めず参加できなかったのが残念でした。作品展や、他の行事など参観できる行事はその旨と1ヶ月以上前に予定がわかるとありがたいです。担任の先生はこどもをしっかり見てフォローをしていただいております。</p>
<p>・SNSやゲームの悪影響や危険な事に対する付き合い方の授業を、1年生の時から定期的にする必要があると思います。</p>
<p>・アンケートは匿名ですべきだと思う</p>
<p>・いつもあらゆる場面で、熱心にご指導いただき、ありがとうございます。</p>
<p>・いつもありがとうございます。防災訓練についてですが、9月1日辺りというタイミングでの長時間の作業や訓練は熱中症等が心配になってしまいました。関係各所との調整もあるかと思いますが。。9月1日というタイミングで、防災意識を高めたり震災について考えたりすることは大切だと思いますが、暑さ等を考えますと、長時間屋外にいるような訓練については時期を考慮していただけると幸いです。</p>
<p>・いつもお世話になっています。昨年は、学校生活に不安を感じることが多かったのですが、今年は楽しそうに学校に行くことが多く安心しています。また、先生が丁寧に教えていただきありがとうございます。出来ればPTAがなくなってくれればありがたいです。</p>
<p>・いつもお世話になっております。コロナや感染症の感染予防の為にとは分かっておりますが今もまだ給食を個別で食べていると聞きました。食事中お話しは控えた方がよいのかと思います。班で食べる事もコミュニケーションにもなるし給食を楽しみに出来るのでは無いかと思います。子供達が楽しい時間が少しでも多くなるといいなと思います。難しい判断だと思いますがご検討頂けたら…と思います。</p>
<p>・いつもお世話になっております。担任の先生始め、押原小の先生方には生徒個人個人を尊重した思いやりのある対応をしていただき、感謝しております。大輝はあと少し、弟の敬仁はあと2年ですがこれからも宜しくお願い致します。</p>
<p>・いつも子供たちに丁寧に関わっていただきありがとうございます。子供がいつも学校に行くのが楽しいと言っております。先生方にはとても負担をかけてしまっているのだと思いますが、そのおかげもありまして、安心して</p>
<p>・いつも子供達に真摯に向き合ってもらえていると感じています。学習面(授業)のわかりやすさについては、先生方の経歴や指導方法の違いによってわかりやすさ、子供が授業への取り組み意欲に差が出ることは事実としてあります。安心して間違えられる場所、環境づくりを期待しています。</p>
<p>・いつも児童や私たち保護者と真摯に向き合っていただきありがとうございます。子供も毎日学校に行くのを楽しみにしています。先日のねっわーく押原でも書かれていましたが不登校児がゼロというのは先生方の通いやすい学習環境への配慮の賜物だと思います。先生方にとっては大変だと思いますが、保護者として協力は惜しみません。</p>
<p>・ブログから普段の学校生活を垣間見れて、更新が楽しみです。ホームページに学年だよりを掲載してもらえると助かります。</p>
<p>・1年生になってからとても成長を感じています。いつもありがとうございます。</p>
<p>・押原小学校の先生方の熱心なご指導のもと、子ども達は安心して、様々な事にチャレンジし、学びを得ていると日々、感じています。また、地域から愛され、支援される『私たちの押原小!』という意識が、親である私たちにも育っています。良い環境と温かな人々の中で、学べる事に感謝です。</p>
<p>・学校の目指す姿、また、学校生活の様子などは校長先生の話や、子から聞く担任の先生とのやりとりで十分に理解することができています。特にお便りでは担任の先生の考えや現場でのギャップ等が見てとれ、さらに児童の成長を感じることもあり、非常に良い取り組みだと考えています。いつもありがとうございます。</p>
<p>・学校を休んでも電話1本かかってこないのは理由があるのでしょうか。姉と兄が押原小在中の時は必ず電話連絡がありました。</p>
<p>・基本的には学校の教育活動などに不満もなく、良いと思っています。気になるのは運動会の時期くらいです。もう少し暑くない時期がいいと思います。</p>
<p>・休んだり忘れてしまった際に確認できるよう、学校HPに週予定を載せてほしい。確認が夜や週末になった場合、困ることがある。</p>
<p>・兄弟2人在学しています。先生によって対応が違ったり、子どものことをあまりみていない、興味がないのかな…と感じてしまう場面が多々あります。学校生活が子どもの生きる楽しさ、やる気に直結していると思うので、子どもたちのいいところをたくさん見つけて関わってもらえたらありがたいです。</p>
<p>・校長先生が変わられて、毎日児童の登校を見守って下さる姿に当初は驚きました。校内でも、校長先生とよく会うと、子供から聞いています。校長先生はじめ、先生方が、しっかり見守って下さっているという安心感があります。安心感のある学校に変えて下さったこと、感謝しています。これからも宜しくお願い致します。(回答期限を過ぎてしまい、申し訳ございませんでした。)</p>
<p>・校長先生をはじめ6年生の先生方、また押原小学校のどの先生方も子どもたちのために毎日頑張ってくれていると感心しています。また色々な行事などに行くたびに子どもたちの成長をかんじれます。先生方にはお忙しい中、色々と対応いただき感謝しています。</p>
<p>・校長先生をはじめ職員先生方には感謝しています。これからも宜しくお願いします。</p>
<p>・今年度の遠足はおやつが不要だったが、おやつは遠足の醍醐味だと思うので来年は復活させてあげてほしい。</p>
<p>・子供のことで担任の先生とは話はできていますが、学校の事でまだまだ分からないことがあるので子供を通したり学校の様子を聞いたり、絵会の集まりの時に知ってほしいと思います。</p>
<p>・授業参観やイベントなどが盛んで家庭や地域との繋がりも多くオープンなを感じました。先生方にはお忙しい中子どものちょっとした変化などにも対応してもらい連絡くださるなどありがたいです。</p>
<p>・授業中さわいり、他人をたたいたり、授業の妨害する生徒を指導してほしい。</p>
<p>・初めての小学校生活ということで両親とも心配はありましたが、登校初日から『学校楽しい!』という言葉が聞けて本当に安堵したのを覚えています。今現在も楽しく学校生活を送れているのは先生方やお友達のお陰だと思っています。いつもありがとうございます。また、実生活でも道徳の授業で学んだ事の言動(うる覚えですが…「〇〇って言うんじゃないで〇〇って言ったほうが良いんだよ!」等)も見られて、児童に分かりやすい授業内容なんだな、と実感しています。</p>
<p>・暑い時期の運動会の練習が心配です。甲府の小学校の運動会が11月になったそうなので、昭和町の小学校も11月に変更していただきたいです。</p>
<p>・小学校に毎日楽しく通えるか不安でしたが、子ども達の個性を先生方が理解し関わってくださるお陰で、生き生きとした我が子の姿を、毎日見ることができ安心しました。また、お友達や上級生との関わりで我が子が良い方向に変化、成長しているのが目に見えてわかり感心しました。勉強に関しては、クラスでも個人差があると思うので教えるのが大変そうだなあと感じます。我が子の宿題を見ているだけでも大変なので。しかし、勉強は最低限でも、楽しく学校にいらしているだけで1年生ですので、十分に思います。</p>
<p>・積立金を現金集金ではなく口座振替にしてほしい。個別懇談が15分では時間が足りない。</p>
<p>・先生のストレスになるかもしれませんが、授業参観とは別にフラッと学校生活や授業風景を見に行ける期間(2~3日)があると、より子供の生活が見れていいなと思います。アンケートも答えやすいです。</p>
<p>・先日の感謝のつどいの合唱にはとても感動しました。初めての行事でしたが、押原小の暖かく開けた雰囲気がよく分かって、とても素敵な小学校だと思いました。</p>
<p>・大切なお便り関係は、全てPDFにしてHPまたは安全メールで送信していただくと、子どもの渡し忘れなど防げるのでありがたいです。</p>
<p>・第一子の入学で保護者としても色々不安や理解の乏しい点もありご迷惑おかけしましたが、都度先生方が親身になって対応して下さいなとかやってくられました。ありがとうございます。各項目の補足です。◎カリキュラム上致し方ない部分もあるかとは思いますが、運動会のあと数週間体育の授業がないのが気になりました。週に1回程度でも子供の気晴らしになるかと思えます。◎有給をとる関係上、学校通信に翌月の予定表まで載せてくださるのがすごくありがたいです(もちろん年間予定も把握しています)。校長先生の記事も毎月読んでます!</p>
<p>・登下校は、高学年になっても心配ですので引き続き見守りやご指導よろしく願います。</p>

保護者アンケート結果（グラフ）



(2) 「児童アンケート」結果と考察

押原小学校 令和6年12月実施

学校教育目標
<p>ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成</p> <p>自分の考えをもち、自ら学ぶことができる子(知)…かしこい子 豊かな心を持ち、人を思いやることができる子(徳)…やさしい子 心と体をきたえ、最後までやり抜くことができる子(体)…たくましい子</p>

※(4) そう思う (3) ややそう思う (2) あまりそう思わない (1) そう思わない		割合(%)			
評価項目		(4)	(3)	(2)	(1)
生活のこと	① あなたは、楽しく学校生活をおくっている。	67	25	8	1
	② 先生たちは、みんなのことをわかってくれて、相談やなやみを聞いてくれる。	78	17	3	2
	③ 先生たちは、正しいことやいけないことをしっかり教えてくれる。	89	9	2	0
学習のこと	④ 先生たちは、わかりやすく授業をしてくれる。	81	17	3	0
	⑤ 先生たちは、ノートに自分の考えや友達の考えを書いたり、ふりかえりをしたり、発表したりすることを教えてくれる。	77	20	3	1
	⑥ 先生たちは、正しいことをしようと思えるように話をしてくれる。	85	13	1	1
	⑦ 先生たちは、健康についての話をしてくれる。	79	17	3	1
	⑧ 先生たちは、おうちでの勉強(宿題や自学)を見てくれる。	80	15	4	1
安全のこと	⑨ 先生たちは、登校班での話や帰るときの注意をしてくれる。	82	15	3	0
	⑩ 先生たちは、ひなんくんれんやぼうはんくんれんなど危険にそなえての活動をしてくれる。	88	10	2	0
	⑪ 先生たちは、健康管理に気をつけ、環境を整えてくれる。(熱中症について・感染症について)	81	16	3	1
地域のこと	⑫ あなたは、先生たちからの連絡やおたよりなどきちんとお家の人に伝えている。	66	25	6	2
	⑬ あなたは、家庭ほうもんやこべつこんだんが終わったあとは、お家の人と学校のこと(勉強や友だちのこと)について話をしている。	63	37	7	3
	⑭ 先生たちは、お家の人の考えをわかってくれる。(こうしてほしいという意見など)	70	25	4	1
	⑮ 学校とちいきの人が協力しあっている。(交通安全やあいさつ、クリーン活動など)	82	15	3	1

児童アンケートの考察

1. 生活のこと

全ての項目において肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高く9割を超えている。引き続き、楽しい学校生活を送れるよう指導していきたい。しかしながら、「どちらかというと思わない」「そう思わない」と回答している児童もいる。個々の児童に当たって、なぜその子が「そう思わない」のか実態をしっかりと把握し、一人ひとりの居場所や活躍できる場のある学校・学級づくりにつなげていきたい。

2. 学習のこと

学習についても、すべての項目において、肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合は高く9割を超えている。児童は、「知りたい・わかりたい・できるようになりたい」と希望を持って登校している。それにこたえられるよう、継続して、学級集団づくり・教材研究・指導法の向上等研鑽を重ねていかなければならない。そうすることで、今後も、学習について児童が「そう思う」と自信をもって答えられるよう指導の充実を図っていきたい。

3. 安全のこと

どの項目においても「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高い。運動会の熱中症対策や日頃の登校班指導等が児童に浸透している結果と言える。また、コンビニの事件への対応等も安全に留意して行い、実際の対応にも生かされていると感じているのかもしれない。今後も避難訓練、防犯・防災などに関わる授業を今後も計画的に実施していき、児童の安全に対する意識を高めるとともに、実効性のある指導を継続していきたい。

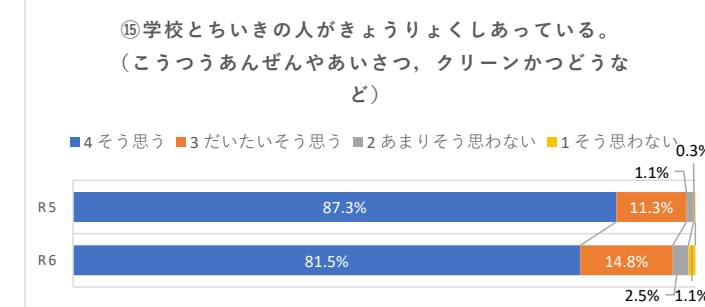
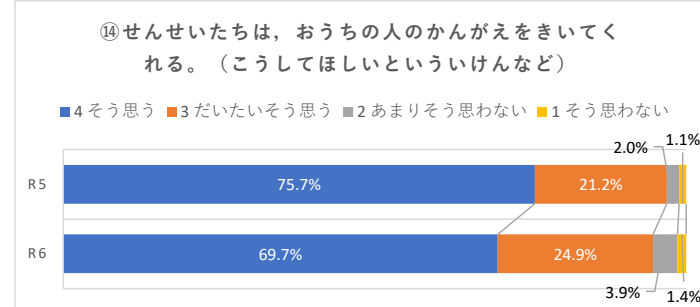
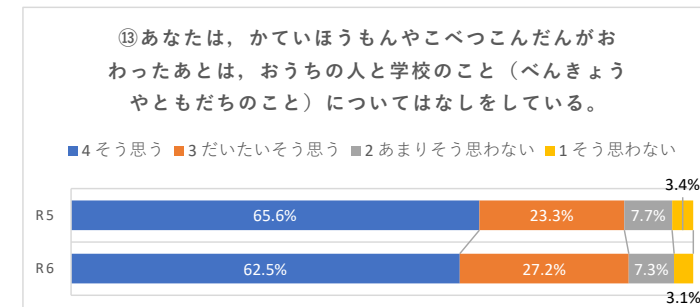
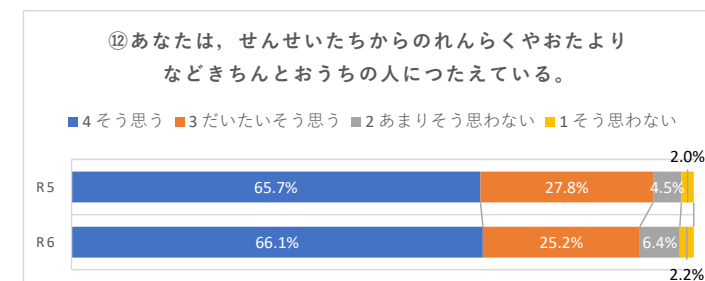
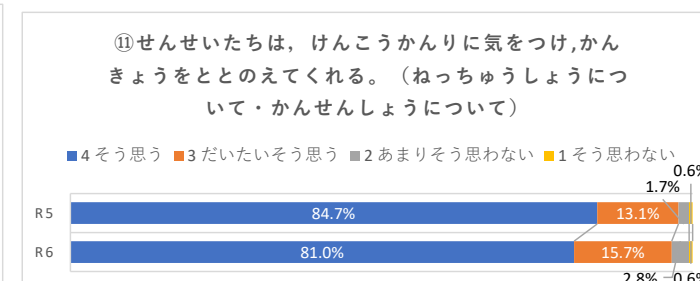
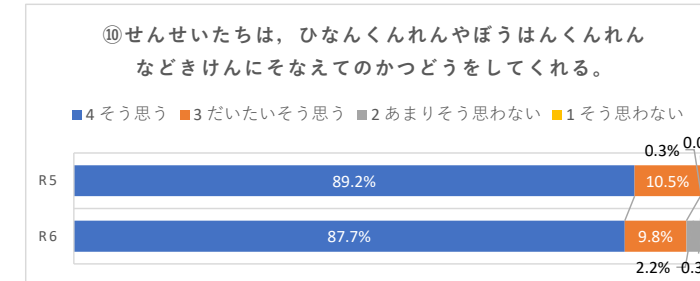
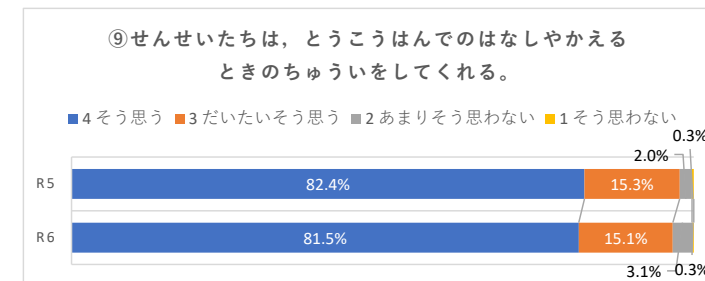
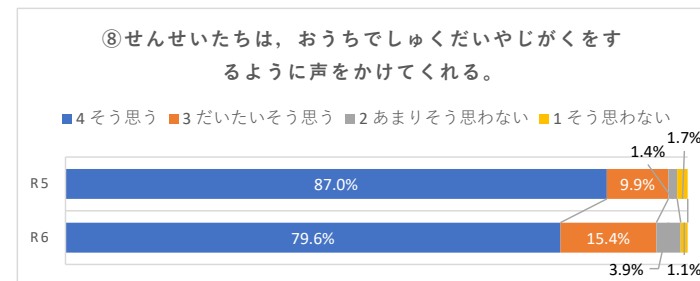
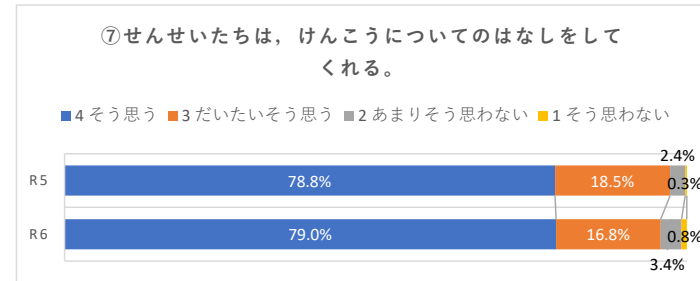
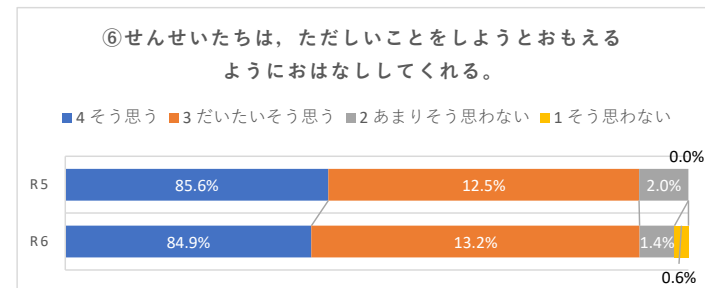
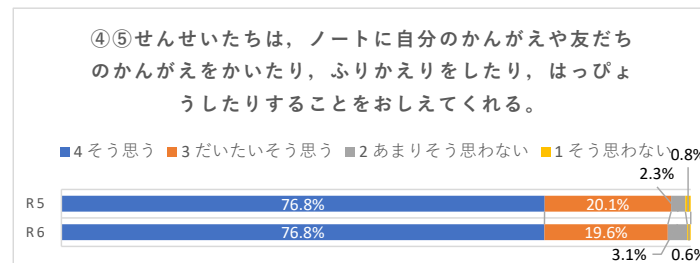
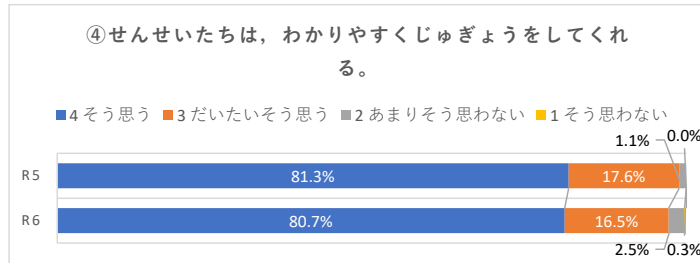
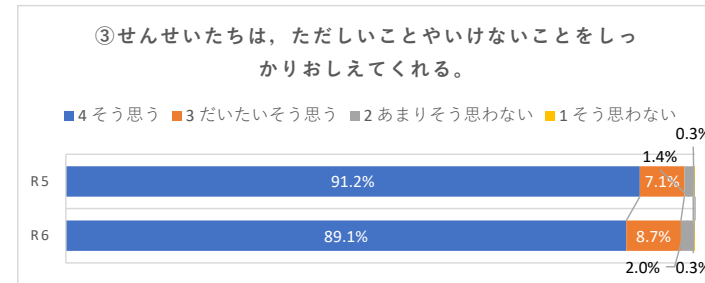
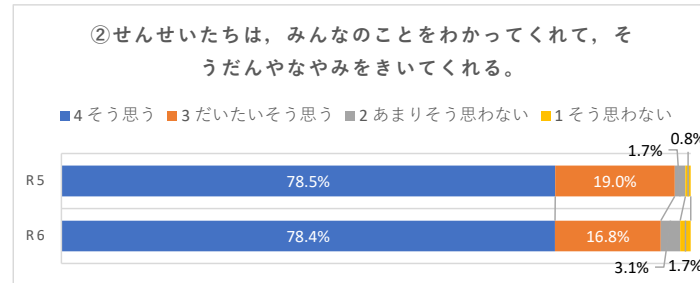
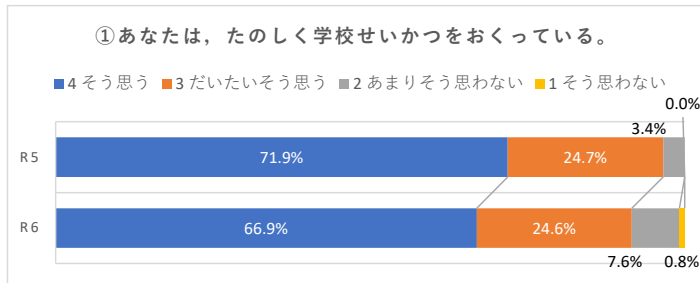
4. 地域のこと

全ての項目において肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高く9割を超えている。また家庭で自分のことについて話をしているかなど問うている。⑬「家庭訪問や個別懇談が終わった後に家の人と学校の話をしている」の項目については、昨年度より肯定的な回答が向上している。家庭訪問・個別懇談後に親子で振り返るよう、お便り等で呼びかけ、より効果的になるように今後、取り組んでいくことも考えられる。また、引き続き、家庭への話題提供を積極的に行うとともに、児童が自分自身について肯定的な意識を高めていけるよう指導していきたい。

5. まとめ

結果については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答が多かったため、今年度の学校教育は達成できたといえる。しかし、少数の児童へのフォローも忘れないようにしたい。「そう思わない」・「あまりそう思わない」児童の声に耳を傾け、「だれ一人取り残さない」ように残りの3学期、改善できる点は改善し、次年度につながるような指導を行っていきたい。

児童アンケート結果（グラフ）



令和6年度 学校の自己評価の結果と改善策

昭和町立押原小学校

教職員アンケート結果をもとにしながら、保護者アンケート、児童アンケートの結果もふまえて、学校の自己評価を行った。

教職員アンケートについては、評価は、7月（前期）、12月（後期）の2回行っている。保護者アンケートと児童アンケートは年1回（12月）に行っている。どのアンケートも共に、各項目における「4 そう思う」、「3 どちらかというと思う」、「2 どちらかというと思う」、「1 そう思わない」の各選択肢のポイント（%）を算出している。

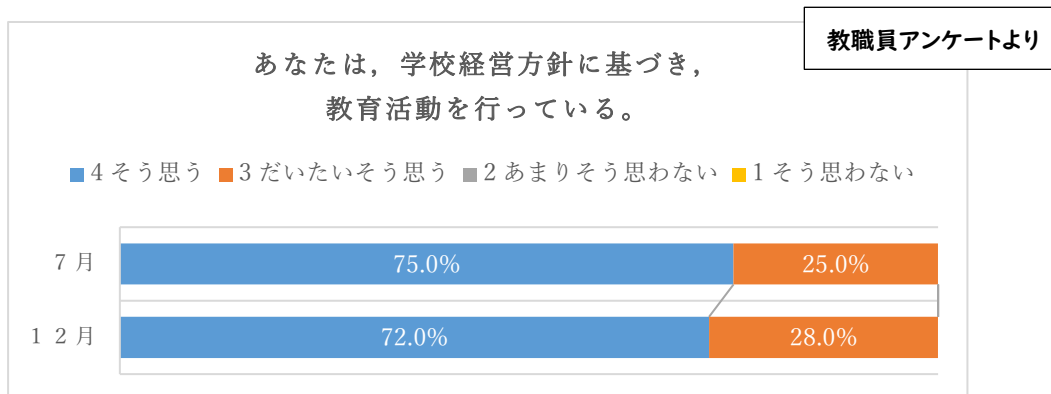
1 全体評価

・保護者アンケート及び児童アンケートのすべての項目において、肯定的評価〔4（そう思う）と3（どちらかというと思う）〕が9割を超えており、本校の今年度の教育活動についておむね理解が得られていると考える。

2 項目ごとの評価結果

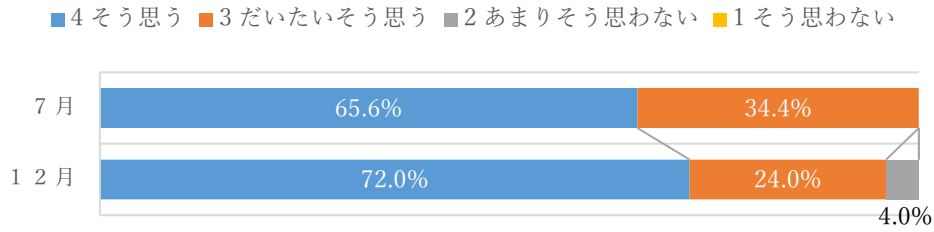
【学校教育目標・学校経営について】

1年間を通して、学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきたことが、結果からうかがえる。また、教育活動計画に基づきながら、児童の実態や教育環境に即した教育実践を行っていることについて、肯定的な評価からうかがえる。PDCA サイクルを生かした教育実践という点についても、「そう思う」の割合が増加している。これまでに実践をした成果をチェックし（C）、次年度につなげていく（A）ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の教育課程の作成や押原小の運営要綱の作成をしっかりと行い次年度につなげていきたい。



教職員アンケートより

あなたは、学校の教育活動計画に基づき、実態に即した教育実践を行っている。



【今年度の重点目標について】

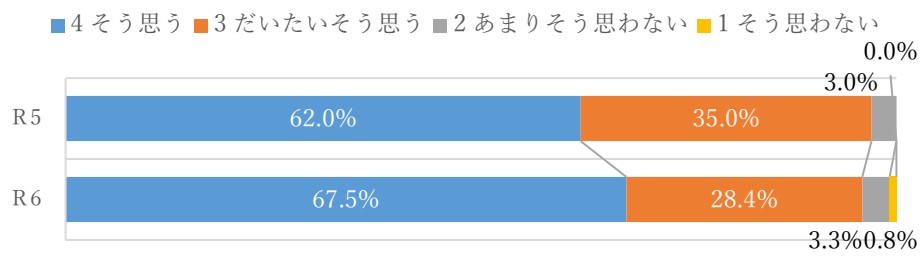
(1) 安心・安全の保障

○生徒指導について

この項におけるアンケート結果は保護者・児童ともに肯定的評価が、90%以上となっている。保護者については、「①児童は、生き生きと学校生活を送っている。」の項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。児童については「あまりそう思わない」の値が増加している。これらのことから、個々の児童に目を向け、児童が安心して楽しい学校生活が送れるように、より一層、努力していく必要がある。

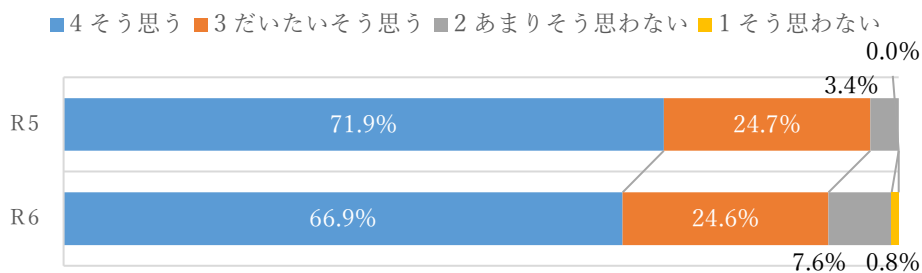
保護者アンケートより

①児童は、生き生きと学校生活を送っている。



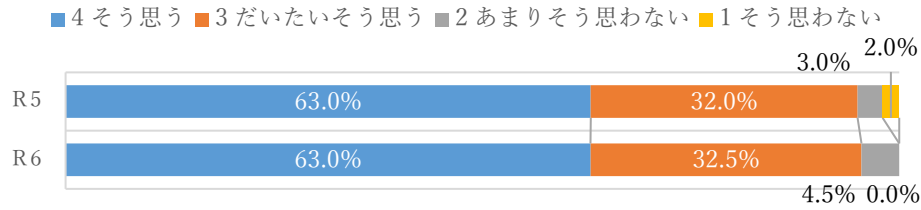
児童アンケートより

①あなたは、たのしく学校せいかつをおくっている。



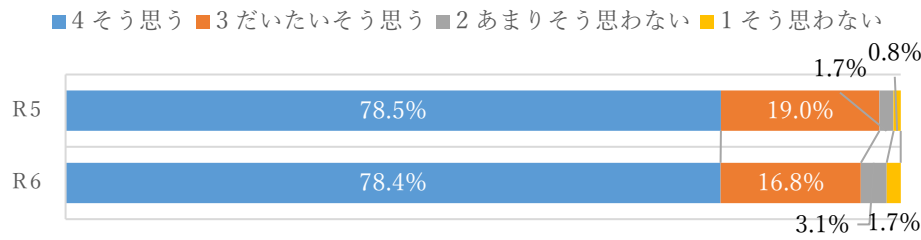
保護者アンケートより

②教職員は、児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。



児童アンケートより

②せんせいは、みんなのことをわかってきて、そうだなやなやみをきいてくれる。



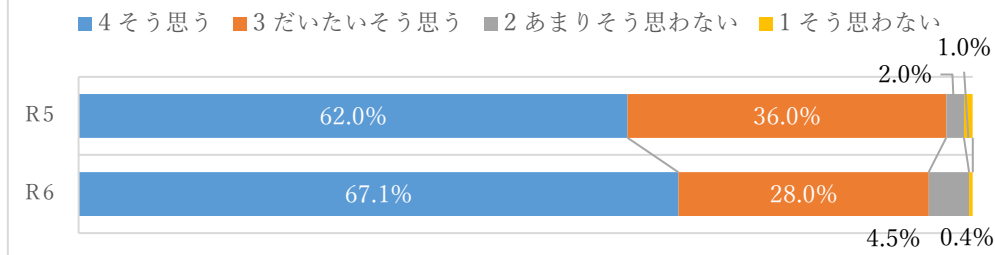
○安全指導について

教職員・保護者・児童アンケートにおいて肯定的評価となっている。保護者アンケートでは、「⑨児童の安全な登下校のために安全指導を行っている」項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。しかしながら、全体的に肯定的な値は減少しているため、今後も安全指導に全校体制で力を入れて指導していく必要がある。

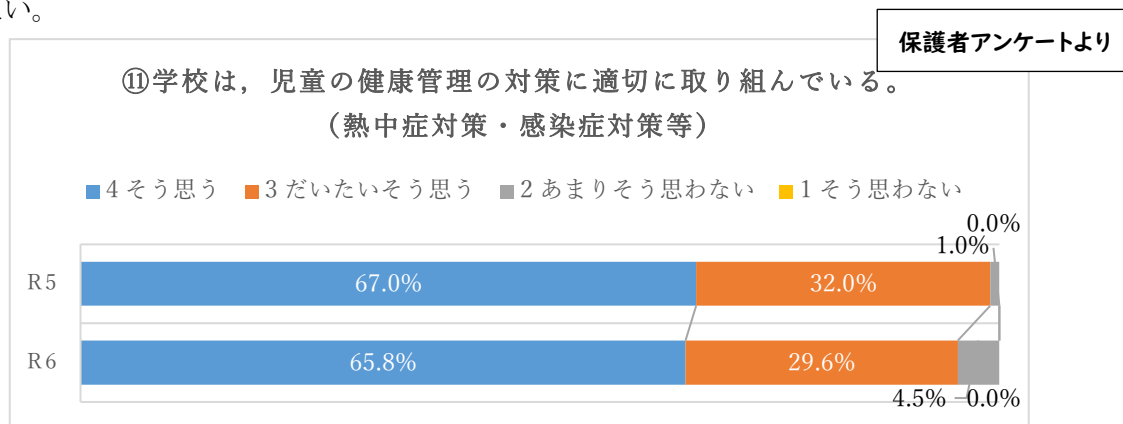
通学路の安全対策では、保護者の方々に通学路の危険箇所を親子で確認する取組を行っている。それらをリストとしてまとめ、「地区懇談会」や「押杜っ子を守る会」で意見集約し、地区ごとに要望として町にお願いをしている。たくさんの要望をすべて実現していくことは難しいが、継続して要望を続けていく。

保護者アンケートより

⑨学校は、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。



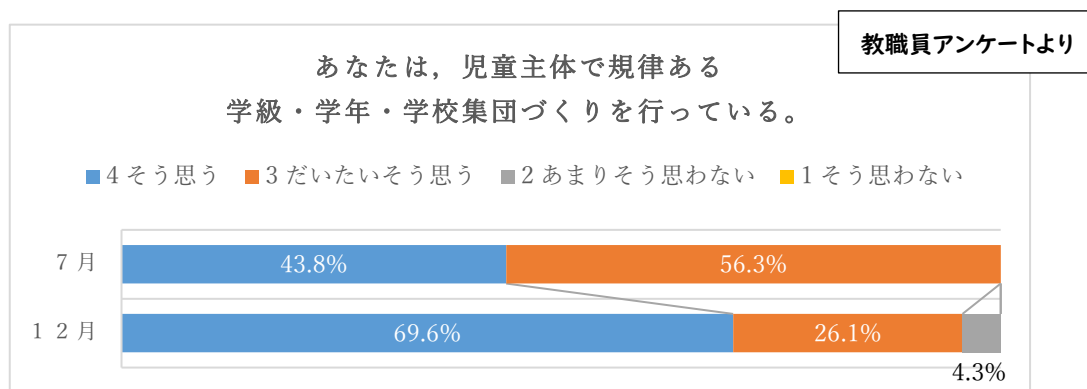
「⑩児童の健康管理への対策」については、今年度は感染症から熱中症に意識が移行していることがうかがえた。特に運動会への取組については、不安に思っているという意見が寄せられている。運動会の実施時期を可能な限り見直していき、今後も学校の安心・安全のために対応していきたい。



(2) 学力の保障

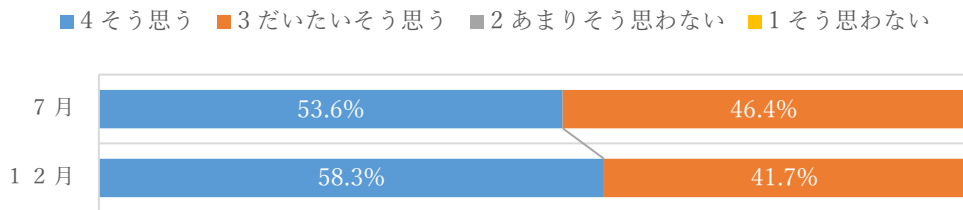
教職員アンケートでは、多くの項目で前期の値を上回った。特に、学級、学年等の集団づくりに関して、「そう思う」との回答が大きく向上している。集団づくりの大切さを全職員が理解し、取り組んできたことの成果であるといえる。ただ、思い描いていたような結果とならなかったのか、「あまりそう思わない」の回答もあるので、どの学級も、3学期の最後の日まで、学級づくりの種を蒔き続けていきたい。また、基礎・基本の定着に重点が置かれた指導が継続的に行われてきたことが、評価されている。今後も1コマ1コマの指導を大切に積み重ねていくことを継続し、学力の向上を図っていきたい。保護者アンケート、児童アンケートでも肯定的な支持を得ているが、「そう思わない」との回答もあるので、全ての児童が「できた・わかった」と実感できるような授業を校内研究や各種研修等を通して研鑽を重ねていきたい。

家庭学習については、保護者のアンケートで、「そう思う」の値が向上した。校内研究の内容にも盛り込み、全校体制で継続して取り組んできている成果であると言える。さらに、取組を続け、家庭学習習慣の定着につなげていきたい。



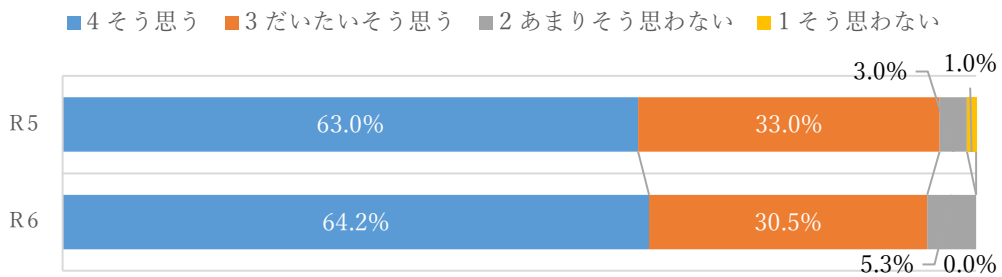
教職員アンケートより

あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。



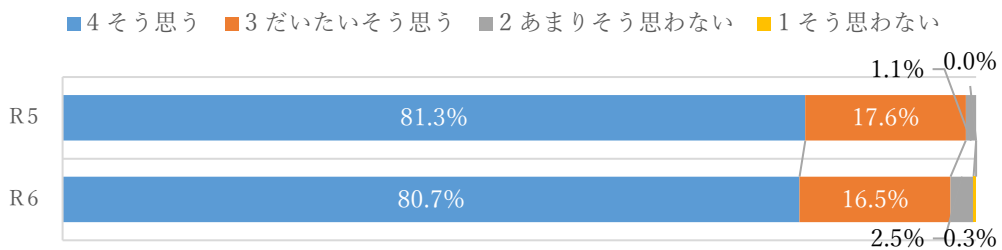
保護者アンケートより

④教職員は、分かりやすい授業に努めている。



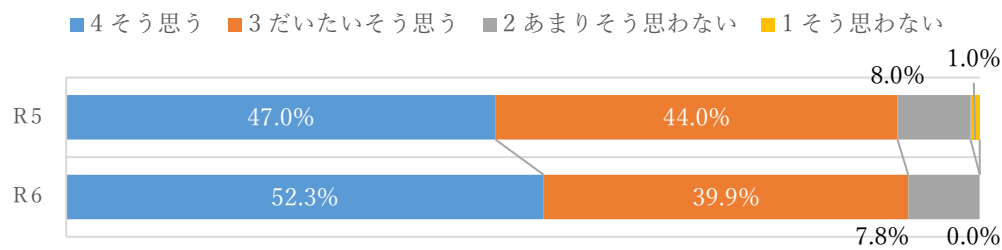
児童アンケートより

④せんせいたちは、わかりやすくじゅぎょうをしてくれる。



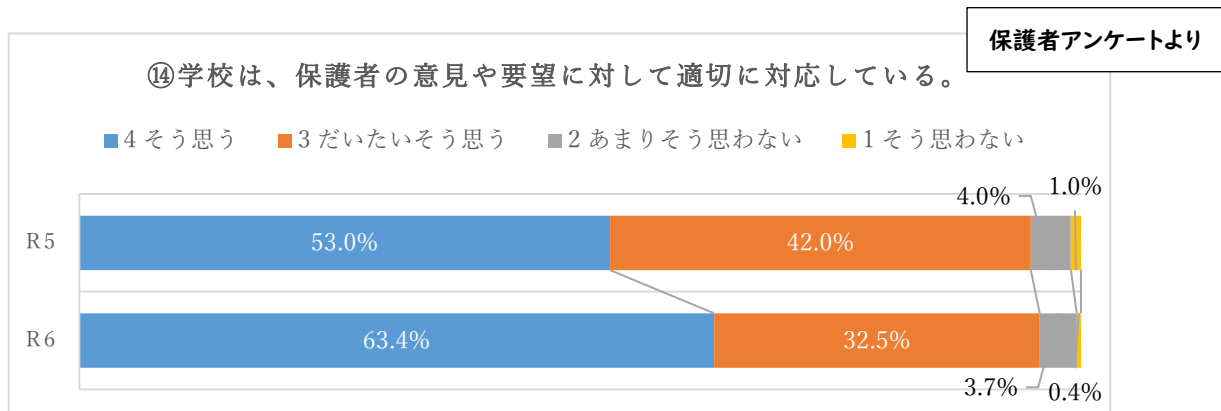
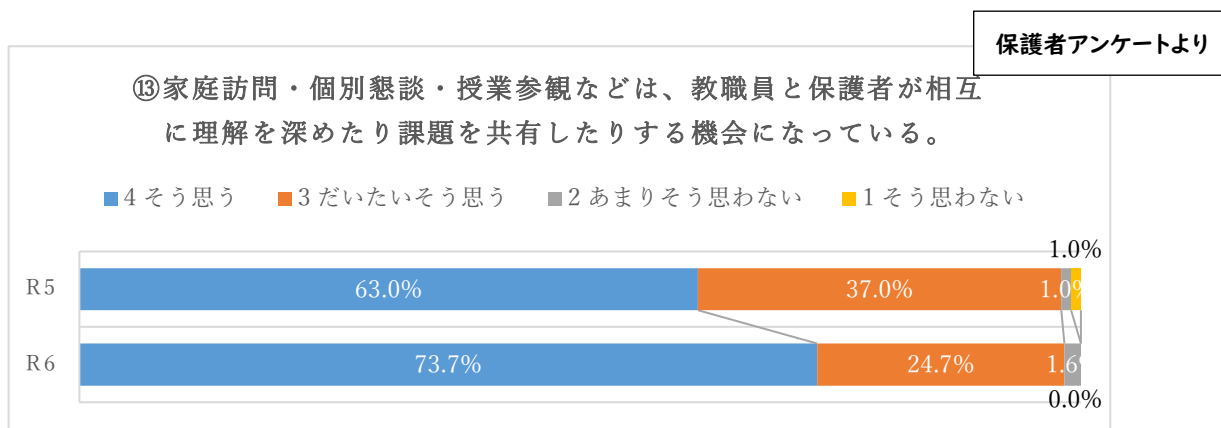
保護者アンケートより

⑧学校は、家庭学習について家庭と連携を図っている。



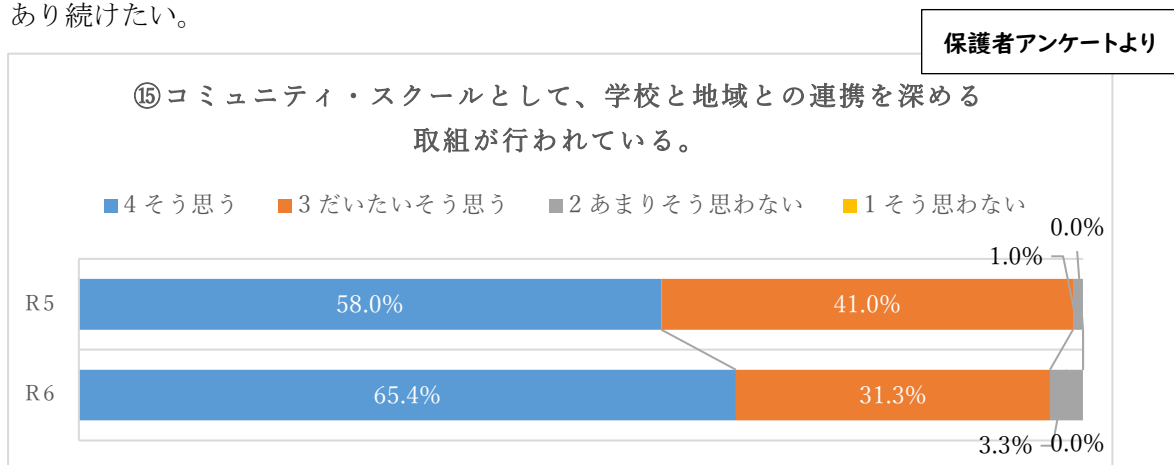
(3) 信頼の醸成

学校と家庭が相互に連携し、児童の指導にあたっていくことが何より大切である。このことから、家庭訪問・個別懇談・授業参観等が有効に機能し、連携につながったことがアンケート結果から読み取れる。また、日頃からの関係構築に努めたことも、評価につながっていると考えられる。今年度の取組や職員対応を継続できるよう、今後も信頼の醸成に向けて努力していきたい。



(4) 参加の促進

コミュニティ・スクールの取組に関しては、CSに関する町の重点校の指定も受ける中で、校内研での研究も併せ、様々な新しい取り組みも行ってきた。「押杜っ子を守る会」「地区懇談会」「押杜っ子CLUB」の取組を継続して行っている。「CS感謝の集い」についても、多くの方々を招待し、児童の気持ちを伝えることができた。「地域に開かれた学校」として今後もあり続けたい。



2 学校関係者評価

(5) 学校関係者評価書

実施日 令和7年2月26日(水) 13:30~15:30

会場 押原小学校 図工室

参加者 学校運営協議会 委員13名

1 学校から提案された資料

- ・令和6年度 自己評価
- 令和6年度の自己評価の結果と改善点
- 児童アンケートの結果
- 保護者アンケートの結果
- 教職員アンケートの結果と考察

2 協議された主な内容

- ・令和6年度 学校の自己評価に関する質疑・意見
- ・来年度に向けての意見・改善策

○自己評価の概要

- ・保護者・児童アンケート(各15項目)全てにおいて、肯定的評価【1そう思う 2ややそう思うの合計】が9割を超えている。本年度の教育活動について、おおむね目標を達成し、理解が得られていると考える。

【学校教育目標・学校経営について】

学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきた。また、教育活動計画に基づきながら、児童の実態や教育環境に即した教育実践を行っていることについて、肯定的な評価となった。PDCA サイクルを生かした教育実践という点についても、「そう思う」の割合が増加している。これまでに実践をした成果をチェックし(C)、次年度につなげていく(A)ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の教育課程の作成や押原小の運営要綱の作成をしっかりと行い次年度につなげていきたい。

【今年度の重点目標について】

(1) 安心・安全の保障

生徒指導に関わる内容では、保護者・児童ともに肯定的評価が、90%以上となっている。保護者については、「①児童は、生き生きと学校生活を送っている。」の項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。児童については「あまりそう思わない」の値が増加している。これらのことから、個々の児童に目を向け、児童が安心して楽しい学校生活が送れるように、より一層、努力していく必要がある。

安全指導については、保護者アンケートでは、「⑨児童の安全な登下校のために安全指導を行っている」項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。しかしながら、全体的に肯定的な値は減少しているため、今後も安全指導に全校体制で力を入れて指導していく必要がある。

(2) 学力の保障

教職員アンケートでは、特に、学級、学年等の集団づくりに関して、「そう思う」との回答が前期よりも向上した。集団づくりの大切さを全職員が理解し、取り組んできたことの成果であるといえる。どの学級も、3学期の最後の日まで、学級づくりの種を蒔き続けていきたい。また、基礎・基本の定着に重点が置かれた指導が継続的に行われてきたことが、評価されている。今後も1コマ1コマの指導を大切に積み重ねていくことを継続し、学力の向上が図ってほしい。保護者アンケート、児童アンケートでも肯定的な支持を得ているが、「そう思わない」との回答もあるので、全ての児童が「できた・わかった」と実感できるような授業を校内研究や各種研修等を通して研鑽を重ねていきたい。

家庭学習については、保護者のアンケートで、「そう思う」の値が向上した。校内研究の内容にも盛り込み、全校体制で継続して取り組んできている成果であると言える。さらに、取組を続け、家庭学習習慣の定着につなげていきたい。

(3) 信頼の醸成

学校と家庭が相互に連携し、児童の指導にあたっていくことが何より大切であり、家庭訪問・個別懇談・授業参観等を通して、連携につなげてきたことがアンケート結果から読み取れる。また、日頃から、電話連絡や連絡帳を通しての関係構築に努めたことも、評価につながっていると考えられる。今年度の取組や職員対応を継続できるよう、今後も信頼の醸成に向けて努力していきたい。

(4) 参加の促進

コミュニティ・スクールの取組に関しては、CSに関する町の重点校の指定も受ける中で、校内研での研究も併せ、様々な新しい取り組みも行ってきた。「押杜っ子を守る会」「地区懇談会」「押杜っ子CLUB」の取組を継続して行っている。「CS感謝の集い」についても、多くの方を招待し、児童の気持ちを伝えることができた。「地域に開かれた学校」として今後もあり続けたい。

〈 質問・意見 〉

- 保護者の意見を見ると、学校と保護者の信頼関係が見えた。
- 今、不登校・引きこもりが増えている社会状況の中で「不登校ゼロ」は素晴らしいこと。それは、学校が楽しいところ・安心するところであるんだと思う。れころであるんだと思う。
- 学校評価から学校経営がうまくいっていることが伝わってくる。CS フォーラム昭和でも様々な取り組みをしていることが分かった。とても素晴らしい。
- 甥っ子が6年生にいますが、低中学年のころは心配していたが、今は落ち着いてきているので安心している。
- 不登校になる前のグレーの時に先生方が尽力しているのがわかる。それも不登校ゼロにつながっているのではないかと思う。
- 学校運営協議会の一員として、会議だけでなく学校の授業参観等も見せていただきたい。そうすると会議の中で学校活動への意見も言えると思う。
- 学校からの要望でなく、地域からの情報や要望が会議で出されるといいと思った。
- CS フォーラム昭和で発表されていたカメラの活動もうまく学校と地域をつなぐ活動だと思った。そういうものを今後も活用していけるとよい。
- 今年度紙漉阿原の地区の活動として杉浦医院の見学会があった。新住民など地域を知らない人が多いので、地域を知る活動を増やしていただけるとありがたい。
- 今日、学校運営協議会の委員として校長室で給食をいただいたが、どこかのクラスで食べさせてもらえると学校の様子がわかっていいと思った。
- 防災訓練や引き渡し訓練に地区と学校が一緒になって参加するのはいいことだと思った。子どもが参加すれば保護者も来る。そうすれば地域の人との関わりが生まれる。この活動が地域の活性化にもつながるので、今年度は台風で中止となったが来年度はぜひ実施できるとよいと思う。ただ、暑さ対策もあるので、9月開催でよいのか検討したほうがよい。
- 運動会も暑さ対策のため、時期を検討してほしい。
- 過密なスケジュールの中、先生方の熱意を感じる。行事が多いと現場の先生方が大変ではないかと心配である。
- 運営協議会に担当の先生方の生の声を聞きたい。
- 今、SNS での問題が多く取り上げられているが、学校としてどう対応していくのか聞きたい。
- 「不登校ゼロ」は素晴らしいこと。学校が楽しいところであるのだと思う。毎朝校長先生が遠いところまで足を運び子どもたちとコミュニケーションをとっている姿を見ている。
- 委員さんたちが子どもたちの様子を把握したいという意見がとても大事だと思った。
- 先生方のことを思う温かいご意見もあった。冒頭に出たアクセルとブレーキの加減の話にもあったが、先生方も地域の方も健康でいられるようにしたい。
- 以前、委員として中学校の授業参観をしたら、中学校の先生は生徒を呼び捨てにしている違和感があった。当時、会議の中で同じ意見の人は一人もいなくて、呼び捨てのほうが親しみやすくいいじゃないかと言われた。今小学校では児童への呼びかけはどうか。
- 最近体罰アンケートを実施し、厳しい意見はほぼなかった。子どもに寄り添う指導をする教師が多い。

全体を通して、押原小学校の教育活動はよい評価を得ている。

(説明資料)

「学校評価」における学校の「自己評価・各種アンケート」及び「学校関係者評価」について

学校は、法令(※)により、①学校評価を必ず行って、②その結果の公開に努めること、③自己評価は必ず行うこと、④学校関係者評価の実施に努めること、⑤学校評価(自己評価、学校関係者評価)の結果は設置者(本町の場合は町教委)に報告することになっています。

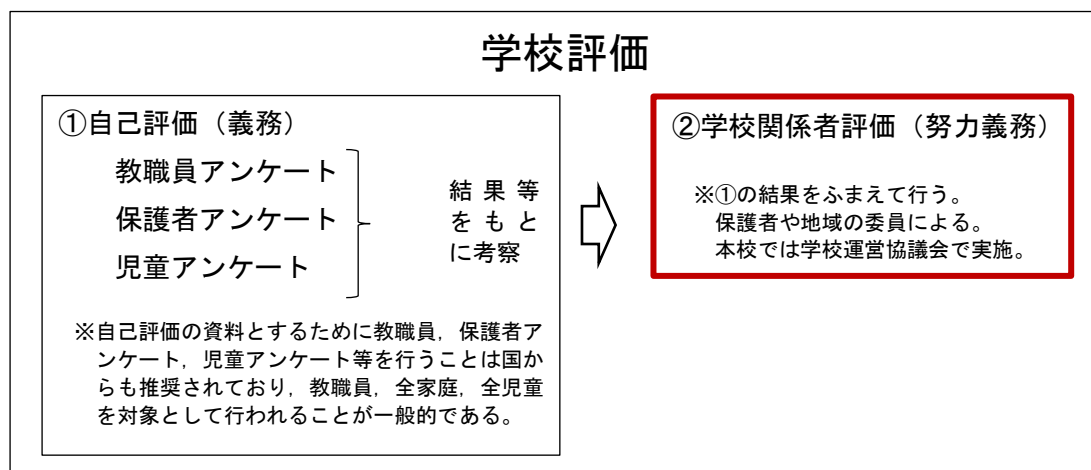
本校でも毎年、学校の自己評価と学校関係者評価によって、学校評価を行っています。

自己評価については、その資料となるよう、年2回(7月、12月)の教職員アンケートと、年1回の保護者アンケート・児童アンケート(12月)を行っています。

この内、保護者アンケートについて、本校では令和2年度より全家庭を対象として実施しています。加えて昨年度からは、さらに広く意見を収集し、より客観的なデータを得ることができるよう、全児童を対象にアンケートを実施したところです。

また、学校関係者評価について、法令では、保護者、地域住民などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することが基本とされています。これを受け、例年本校の学校関係者評価は学校運営協議会でされており、本年度も、今回の協議会において委員の皆様をお願いする次第です。

なお、学校の自己評価と学校関係者評価の結果は、自己評価の資料となった教職員及び保護者、児童の各アンケートの結果も添えて、町教委に報告するとともに、本年度末までに本校ホームページ等でも公開する予定です。



※「学校評価」の実施については、以下のような法令によって定められています。

学校教育法	第42条	学校評価の実施	(義務)
学校教育法	第43条	学校評価に関する情報の公開	(努力義務)
学校教育法施行規則	第66条	自己評価の実施・公表	(義務)
学校教育法施行規則	第67条	学校関係者評価の実施・公表	(努力義務)
学校教育法施行規則	第68条	学校評価結果の設置者への報告	(義務)

上記以外に、外部の専門家等による「第三者評価」もありますが、法令上、義務・努力義務の定めはありません。